

紙信著報電

無線電報 例一 神戸局受信

付受	號番	局信發	數字	宛名
ラ	立	エイサンマル タクソウシオミサギ ムセン	三五	コウベシ サカエマチ四 アツマ キセンカイシヤ
月	日			
一	四			
時	分			
一	〇			
指	定			
シ	イ	ン	ケ	
ケ	リ	レ	ヤ	
ン	ン	ウ	ク	
エ	ギ	ケ	タ	
キ		ニ	ン	
	ヨ	ヌ	ヤ	
	ウ	シ	ク	
	オ	ホ	セ	
	サ	ク	セ	
	カ	カ	ト	
印	附	日	名線回	
			大段一	
			35	

刷色緑へ紙白・分七寸四横・分九寸六縦は紙用物實口

内國歐文電報の受信。
第四章 受信 第一節 音響受信 第二節 對手通信

第三項 歐文受信

紙信著報電

電氣通信術(手送通信術)

付受	號番	局信發	數字	宛名
ヨ	七六	サクラギ	四三	(ヘウゴ) ヒガシデ
月	日			
一	六			
時	分			
一	〇			
指	定			
ホ	ク		リ	
カ	マ	ニ	ウ	
一	ツ	テ	ハ	
	一	ウ	ハ	
	シ	ノ	ガ	
	ラ	レ	九	
	ク	ヨ	シ	
	ラ	シ	デ	
	シ	ヤ	タ	
	ズ	ナ	マ	
印	附	日	名線回	
			神戸	
			28	

刷色緑へ紙白・分七寸四横・分九寸六縦は紙用物實口

【備考】一 傍線の箇所を反復の意味にて再送し来るに付之に依り照査し照校者名及受信者名を記入したるもの。(規程四四三)但し二重法の場合である。

【例の一】神戸局に中継信として受信したる原書の状態を示す

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

R.No.	in	out	Time sent	By	Collected by	Class of telegram	Office of origin
156		Fukiai				WR	Tokyo
No.	Words	Date	Time				Remarks
102	19	19	10 36 m				muic

WR mason kobe

you may deliver goods without production of bill of lading if you are satisfied with guarantee

刷色紙、紙洋色肉、寸七横、分二寸六縦は紙用物寅口

No. of paper 94 Time received 11.55 m. By Collected by S.K.

電報九號

【例の二】葺合局に著信として受信したる原書の状態を示す

(著信紙)

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

R.No.	in	Class of telegram	Date Stamp	To	Office No.
78	WR			WR	
Office of origin				mason	
Tokyo				kobe	
No.	Words	Remarks			
102	19				
Date	Time				
19	10 36 m				

you may deliver goods without production of bill of lading if you are satisfied with guarantee

刷色紙、紙洋色桃、寸七横、分二寸六縦は紙用物寅口

電報十號

No. of Paper

23

Time received

By

S.K.

Collected by

第四章 受信 第一節 普通受信 第二款 對手通信

一八七

電氣通信術(手送通信術)
外國歐文電報の受信。

【例の一】神戸局 著信として受信した
る原書の状態を示す

(著 信 綴)

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS.

R.No.	117	In	Class of telegram	DC	Date Stamp	To	Office No.
Office of origin	Liverpool					Kobe	49
No.	30360	Words	16	Date		1/3	Time
Remarks							
Orders 6566 miscalculated							
kindly increase price eleven							
percent excepting number 2							
writing fully							

刷色線ノ紙洋色紙・寸七横・分二寸六縦ハ紙用物實口

電報十紙
No. of Paper 25
Time received 8.10m
By K.K.
Office No.
Collated by

【例の二】三宮局 著信として受信した
る原書の状態を示す

(著 信 綴)

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS.

R.No.	67	In	Class of telegram	DC	Date Stamp	To	Office No.
Office of origin	London					Kobe	
No.	4226	Words	7	Date			Time
Remarks							
nil							
28352 first Jamiya rpt eighth							
eleventh twentyseventh							

刷色線ノ紙洋色紙・寸七横・分二寸六縦ハ紙用物實口

電報十紙
No. of Paper 30
Time received 1.10m
By S.M.
Office No.
Collated by

第四章 受信 第一節 音響受信 第二款 對手通信

【備考】

一、外國より本邦着電報の發信番號に文字を冠するものがある。(大正一、八、一四、通外七七、通譯四)

一、商業太平洋海底電信會社線及警城無線を經過する本邦着電報中新聞電報後廻電報に限り頼信の日附及時刻は、本文に記載したるものゝみ之を送信し來り本文に記載なきものは送信を省略。(外國規則七)

一、事務報及課金事務報の本邦着電報には、往々頼信日附及時刻なきものがある。

右の表示を缺く場合には、「三」なる語を以て之に代へる。

第二節 印字受信

印字受信は印字機に依る送信練習の進歩に伴ひ、印字機一座に對し二人を配置し、一人を送信に、一人を受信に當らしめ、送受信を交互に行はしめ、之を練習せしめる。印字機受信は比較的他科目より進歩容易なると、又一面送信練習當初に於て不確實なる字號に依り練習させても、無益に時間を空費するのみであるから、入學後左記の通り練習を開始す。又逕信局長は印字受信に對し、必要と認むる程度に

制限し得ることゝなつて居る。(講習細則 第二十條)

和文 第五週

歐文 第九週

印字受信の姿勢は、大體音響受信に於けるが如く整然たる態度を保たせる外、第



第三十圖

三十圖の通り左手にて現字紙を手繰り、印字機の繰出しに遅れざる様手繰ると共に、其の受信をして之に伴はせるには、現字紙の着眼點に注意を要し、其着眼點は印字機より多く放れない點、即ち最も上部に着眼しなければならぬ。

印字受信にて特に注意せしむべきは、短點脱落の場合で、音響受信にて其音調に依り受信し得らるべき短點の脱落も、印字受信にては脱落のまゝを誤受することがある。勿論送信字號の不正確なるに因るとは云へ、受信者亦注意すべきものである。其他は一般通信の取扱に準ず。

第五章 多重通信

第一節 器械調度法

第一款 二重電信機

【電鍵】二重電信機に於て、電鍵轉換器は常に(S)送信部に轉換し置く、但し地氣裝置ある器械にて通信閑散時は發電流を除く爲(R)受信部に轉換し置く。

【バランス調整】差動式二重電信に於て、電鍵を上下するとき、檢電器傾斜の度に差異を來すときは加減抵抗器を加減す、即ち加減抵抗器の抵抗を少しづつ、順次増加し、前記檢電器指針の差度減じたる時は、差度無くなる迄抵抗を増加し、若し差度増加したるときは反對に差度無くなる迄之を減少す。但し電池接續方法に對極法、反極法の二種あり、上述の調度法は其孰れに對しても應用し得る。

(加減抵抗器に於ける抵抗の見方は、腕金の指示する數字に「ベグ」を抜きたるところに表示せる數字を加へ、其和を以て全抵抗とする)

長距離線に於て電鍵を上下するとき、檢電器指度に差異を生じないが、其上下の都度瞬間的動搖を來すときは、加減蓄電器、遅流抵抗器を加減するのである。

イ 電鍵を按下したるときと放ちたるるときと、指針反對方向より動搖を始むる現象あらば、蓄電池を抵抗器の例に依り徐々に其動搖止むまで加減するのである。

蓄電器は「ベグ」を差したるところに表示せる數が蓄電器容量を示すものである。

ロ 電鍵を按下したるときも放ちたるるときも同方向より動搖を初むるときは、遅流抵抗器の値を加減するか、或は其前後に於ける蓄電器の容量を適當に分配し、又は多少の増減を爲し、靜止するまで調整すべきものであるが、可なり熟練したるものでなくては殆んど困難である。

前記の調整をなすには、對手局と通信中は、對手局へ「バラ」なる符號を送り、對手局をして電鍵に觸れしめない様にし、之等の調整を行ふ。

右の如く「バランス」の調整を終りたるも、繼電器の調度不良なる場合に於ては、相

互より「イロハ」を送り、繼電器の調度を行ふべきである。若し繼電器を調度するに當り、字號亂るゝ現象あるときは、繼電器により「バランス」を調整する必要を生ずることがある。其他「バランス」を得ざる場合等は、詳細機械取扱法により研究することを要す。

第二款 四重電信機

交直流四重電信法無極繼電器を使用する方を甲とし、有極繼電器を使用する方を乙とし

交流回線に於ては、障礙其他種々の關係に因り、不時に強電流入り來ることあるを以て、通信中電鍵又は變壓器等の金屬部には、濫りに接觸せざる様注意しなければならぬ。

一 交直流四重法に於て、平衡調整を爲すには、先づ乙部(スモール)を二重法の例に據り調整し、次に甲部(ラージ)電鍵を上下し、無極繼電器キツク(動作)現出せざるまで擬似回線の容量を加減すべきである。交流檢電器の装置しあるときは、之に依り平衡(バランス)の正否を觀察する便を有する。而して檢電針感動せず、略平

衡を得たるが如きも、尙繼電器に「キツク」出づる場合は、未だ完全なる平衡でないから、尙叮嚀に調整を試むべきである。

二 乙部(丙種繼電器、甲種繼電器)繼電器の調度は二重法の例に準ずる。

甲部(無極繼電器)繼電器を調度するときは、なるべく「スプリング」を一定し、接極子の進退に依る。尙之をなすには、相互より「イロハ」を送り調度するを可とす。又之に接続せる甲種繼電器の調度は、閉電式に於ける方法に準ずべく、字號に破れ目を生ずる等の場合は、之が調度を要するも、概して調度の變化を來すことは少い。

第二節 通信法

【二重通信法】二重通信法に依り電報を送受するときは、自局送信者及受信者は一團となり、兩者互に氣脈を通じ通信に従事すべきである。規程一六。

二重電信機に依り通信を開始せんとするに當り、對手局喚呼方法は單信の如くするのである。但し現に受信中なるとき、自局より電報を送信せんとするものなるときは、先づ「二三回」――「可受」の符號を送り、應答を待たずして直に

送信するのである。(規程一四三)

二重法に依り照校電報爲替電報等照校を要する電報を送信するときは、一應其電報を送信し「———」(終信)の符號に次で引續き「———」(反復)の符號を前置し、照校すべき部分を返送し、終に「———」(問符)の符號を送り、之に對し何等受信局所の反問なき限り次の電報に移り送信すべきものである。(規程一七九)

- 一、受信局所に於ては先づ二、三回「———」(尋問)の符號を送りたる後、應答を待たずして直に其事項を送るのである。
 - 二、送信局所に於ては其電報送信後、尋問又は通報事項を送る。但し緊急を要する事項あるとき又は電報長文で速かに送信を了し難きときは、先づ二、三回「———」(尋問)の符號を送り、引續き尋問又は通報事項を送りたる後更に「———」(尋問)の符號を送る。(規程一六〇)
- 二重法に依り電報を送信するときは、其電報の盡るまで連續送信す。但し別章

通過番號の部に規定せるが如く、電報と電報との間には少許の間隔を置き、受信局所より「———」(可止)の符號を送り來りたるときは直に送信を中止すべきである。(規程一一八) 其他は總て單信通信の取扱に準ず。

【四重通信法】四重法に依り電報を送受するときは、其甲部と乙部は各別に一團となり、其部の送信者及受信者は二重法に依り送受するるときと同じく、互に氣脈を通じ通信に従事すべきである。(規程一一六) 其他は總て二重法の取扱に準ず。

電氣通信術教授案豫定

神戸支所

學期	週	時數	教 授 案 豫 定 項	
			題 目	要 項
一	一	一五	電氣通信術に關する説明(一時間) 和文符號教授 (二時間)	電氣、磁氣、電信回線及電氣通信術の概説 片假名、數字及終點(誤謬訂正符號)の教授 符號の構成、長短點の呼方及暗記方法の説明及指示 小試験二回執行(翻書)
			和文文字の符號翻譯練習(四時間) 和文符號の文字翻譯練習(八時間)	同
			書 體 (一時間)	週末翻譯豫定進度十分間六〇字 書體に關する説明、鉛筆の削方、持方、使用方法及式 紙の取扱方指示
			和文送信 (五時間)	練習用電鍵に依る送信練習開始 電鍵各部の名稱、作用、取扱方、送信姿勢、ハンドルの持方及按下方法の説明 符號表に依る教官の呼聲に應じて一齊に調子を合せ、

			和文音響受信 (九時間)	最初は短點の練習次に長點の練習次に簡單なる各種符號より漸次複雑なる符號の練習に移る 印字機に依る送信練習開始 印字機に依る練習の目的各部の名稱、作用、取扱方送信姿勢及現字紙の使用方法説明 文字に依り生徒各自に練習させる 音響器に依る受信練習開始 音響器各部の名稱、作用及受信姿勢の説明長短點の聞き分け練習 一字を二度宛音響器に現はして受信せしめ漸次上達に従ひ一字を一度とする 小試験執行
			書 體 (一時間)	週末豫定進度十分間六〇字 書體標本を交付して電報種類、名宛其の他の書法を指示し以後之に依りて練習させる
			和文電報形式及記號教授(二時間) 和文送信 (五時間) 同 音響受信 (七時間)	和文電報の形式、傳送方法、電報受付時刻及記號教授 送信原書に依り生徒各自に中繼信として練習させる 小試験執行
			書 體 (一時間)	週末豫定進度十分間九〇字 書體標本に依り「アルファベット」の花文字、「ライチン

四 一五	和文送信 同 音響受信	(五時間) (九時間)	グレート」及亞刺比亞數字及數字の運筆文字の指示 小試験執行 同
五 一五	書 體 和文送信 同 音響受信	(一時間) (四時間) (五時間)	週末豫定進度十分間一二〇字 以後和歐文共書體標本に依り練習させる 小試験執行 同
六 一五	印字受信 歐文符號の教授 歐文文字の練習 符號翻譯練習 歐文符號の練習 文字翻譯練習 書 體 和文送信 同 音響受信 同 印字受信	(一時間) (二時間) (一時間) (一時間) (一時間) (一時間) (四時間) (五時間) (一時間)	週末豫定進度十分間和文一五〇字 印字受信の目的を説明し其の練習方法、受信姿勢及現 字紙の取扱方を例示する アルファベット、數字、終點(誤謬訂正符號)の教授及 暗記方法の指示 小試験執行 以後一般の模擬電報を中繼信として印出せる現字紙に 依り練習させる 週末豫定進度十分間和文送受一七〇字 印字一三〇字

七 一五	書 體 和文送信 同 音響受信 同 印字受信	(一時間) (四時間) (五時間) (一時間)	小試験執行(翻書) 同 週末歐文翻譯豫定進度十分間一〇〇字
八 一五	歐文電報形式及記號教授 歐文送信 同 音響受信 書 體 和文送信 同 音響受信 同 印字受信 歐文送信 同 音響受信	(一時間) (二時間) (二時間) (一時間) (四時間) (五時間) (一時間) (二時間) (二時間)	週末豫定進度十分間和文送受二〇〇字 歐文電報の形式傳送方法、受付時刻符號、記號及語間 の「スペース」教授 以後送信原書に依り中繼信として練習させる 同 週末豫定進度十分間歐文一二〇字 小試験執行

九一五

書體

和文送信
同 音響受信
同 印字受信
歐文送信
同 音響受信
同 印字受信

(一時間)
(四時間)
(五時間)
(一時間)
(一時間)
(二時間)
(一時間)

小試験執行

週末豫定進度十分間 和文送信二二〇〇字
歐文送信一四〇〇字

以後一般の模擬電報を中継信として印出せる現字紙に依りて練習させる

週末豫定進度十分間

和文送信二二五〇字
歐文送信一六〇〇字

小試験執行

一〇一五
書體
和文送信
歐文同
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

週末豫定進度十分間 和文送信二七〇〇字
歐文送信一八〇〇字

小試験執行

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

小試験執行

週末豫定進度十分間 和文送信三〇〇〇字
歐文送信一五〇〇字

小試験執行

二二一五
書體
和文送信
歐文送信
和文音響受信
歐文音響受信
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

一三一五

書體
和文送信
歐文送信
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

小試驗執行

週末豫定進度十分間
和文送印字三二五〇〇字
歐文送印字二二五〇〇字

一四一五

書體
和文送信
歐文同
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

小試驗執行

週末豫定進度十分間
和文送印字三二七〇〇字
歐文送印字二四〇〇〇字

一五一五

書體
和文送信
歐文同
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(三時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

小試驗執行

週末豫定進度十分間
和文送印字三二九〇〇字
歐文送印字二六〇〇〇字

一六一五

書體
和文送信
歐文同
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

小試驗執行

週末豫定進度十分間
和文送印字四三〇〇〇字
歐文送印字三二八〇〇字

一七 書 體 第一學期試験

(二時間)

週末豫定進度十分間 和文送信四〇〇字
印字三五〇〇字
歐文送信三〇〇字
印字二五〇〇字

二 一 一五 和文送信

(四時間)

豫定執行程度十分間 和文送受三五〇〇字
印字三〇〇〇字
歐文送受二五〇〇字
印字二〇〇〇字

歐文 同 和文音響受信

(一時間) (五時間)

以後著信として送信せしめる
以後時々對話(添送其の他各種符號、通信用語使用)を練習させる
以後著信として送信せしめる
以後著信として受信せしめ且一通毎に受信時及受信當務者名を記入せしめる
式紙の撥方及敷寫紙の入替方説明
以後時々對話(添送其の他各種符號、通信用語使用)を聞き取らせる
緊急軍事電報
小試験執行
以後著信として受信せしめ且一通毎に受信時分及受信當務者名を記入させる

歐文 同

(二時間)

和文印字受信 歐文、同

(二時間) (二時間)

以後著信として受信させる
同

二 二五 書 體 和文送信

(一時間) (四時間)

週末豫定進度十分間 和文送受四二〇〇字
印字三七〇〇字
歐文送受三二〇〇字
印字二六〇〇字

和文音響受信

(五時間)

小試験執行
非常電報

和文印字受信 歐文 同

(二時間) (二時間)

小試験執行
同

三 一五 書 體 和文送信

(一時間) (四時間)

週末豫定進度十分間 和文送受四三〇〇字
印字三九〇〇字
歐文送受三四〇〇字
印字二七〇〇字

和文音響受信 歐文 同

(一時間) (五時間)

人命保全電報
飛行電報

七 一五

和文送信
歐文同
和文音響受信

(四時間)
(一時間)
(五時間)

小試驗執行
同文電報
小試驗執行

歐文音響受信
和文印字受信
歐文同

(二時間)
(一時間)
(一時間)

週末豫定進度十分間
和文送受五七〇〇字
歐文送受四九〇〇字
印字三四〇〇字

八 一五

書 體
和文送信
歐文同
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(二時間)
(四時間)
(二時間)
(五時間)
(二時間)
(二時間)
(二時間)

新聞電報
小試驗執行
同

週末豫定進度十分間
和文送受六〇〇〇字
歐文送受五一〇〇字
印字三四〇〇字

九 一五

書 體
和文送信
歐文同
和文音響受信
歐文同
和文印字受信
歐文同

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)
(二時間)
(一時間)
(一時間)

小試驗執行
電報略送
着局改正

週末豫定進度十分間
和文送受六二〇〇字
歐文送受五三〇〇字
印字四八〇〇字

一〇 一五

書 體
和文送信
歐文同
和文音響受信

(一時間)
(四時間)
(一時間)
(五時間)

小試驗執行
障礙局報
別紙添付局報
小試驗執行

歐文同
和文印字受信
歐文同

(二時間)
(二時間)
(二時間)

書體	(一時間)	週末豫定進度十分間	和文送受六五〇〇字
和文送信	(四時間)	歐文送受五五〇〇字	
歐文同	(一時間)	各局所宛局報	
和文音響受信	(五時間)	資金局報	
歐文同	(二時間)	小試驗執行	
和文印字受信	(一時間)	小試驗執行	
歐文同	(一時間)	週末豫定進度十分間	和文送受六七〇〇字
書體	(四時間)	歐文送受五二〇〇字	
和文送信	(一時間)	為替局報	
歐文同	(五時間)		
和文音響受信	(二時間)		
歐文同	(二時間)		

和文印字受信	(一時間)	小試驗執行	
歐文同	(二時間)	同	
書體	(四時間)	週末豫定進度十分間	和文送受七〇〇〇字
和文送信	(一時間)	歐文送受五四〇〇字	
歐文同	(三時間)	氣象局報	
和文音響受信	(二時間)	着局所及中繼局所宛局報	
歐文同	(二時間)	小試驗執行	
和文印字受信	(一時間)	週末豫定進度十分間	和文送受七二〇〇字
歐文同	(四時間)	歐文送受五五〇〇字	
書體	(一時間)	小試驗執行	
和文送信	(四時間)	申告符號及監視措置符號	
歐文同	(一時間)		
和文音響受信	(五時間)		

二 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (一時間) (二時間) (一時間)	小試験執行(以後試験は着信として傳送) 同 週末豫定進度十分間 和文七七〇字 歐文五六〇字
三 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (一時間) (二時間) (一時間)	印字受信小試験執行 同 週末豫定進度十分間 和文七八〇字 歐文五七〇字
四 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (一時間) (二時間) (一時間)	小試験執行 週末豫定進度十分間 和文七九〇字 歐文五七〇字

五 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (一時間) (二時間) (一時間)	印字受信小試験執行 同 週末豫定進度十分間 和文八〇〇字 歐文五八〇字
六 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (一時間) (二時間) (一時間)	小試験執行 小試験執行 週末豫定進度十分間 和文八一〇字 歐文五八〇字
七 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (一時間) (二時間) (一時間)	小試験執行 小試験執行 週末豫定進度十分間 和文八二〇字 歐文五九〇字

八 一 五	和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(二時間) (一時間) (二時間) (二時間)	小試驗執行 週末豫定進度十分間 和文八三〇〇字 歐文五九〇〇字
九 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (二時間) (二時間) (二時間)	小試驗執行 週末豫定進度十分間 和文八四〇〇字 歐文六〇〇〇字
一 〇 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (二時間) (二時間) (一時間)	小試驗地行 小試驗執行 週末豫定進度十分間 和文八五〇〇字 歐文六〇〇〇字

二 一 五	和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(二時間) (二時間) (二時間) (二時間)	印字受信小試驗執行 同 小試驗執行 週末豫定進度十分間 和文八五〇〇字 歐文六〇〇〇字
二 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (二時間) (二時間) (二時間)	小試驗執行 週末豫定進度十分間 和文八五〇〇字 歐文六〇〇〇字
三 一 五	實 踐 和文送信 歐文同 和文音響受信 歐文同	(九時間) (二時間) (二時間) (二時間) (二時間)	小試驗執行 同 週末豫定進度十分間 和文八五〇〇字 歐文六〇〇〇字

71837 邦

お

電氣學(電信篇)

選信技師
武中貞津衛氏著

本書は選信省講習所の教科書として著作されたものである。従て平易簡明初學者にも容易に理解し得るやう懇切に説明せる所に本書の特色がある。電氣學を教授せらるゝ中等學校程度の教科書又は電氣學研究者の参考書として絶好のものである。

頁〇五二製上列菊
種〇七一圖挿巧精
料送 錢拾五圓貳金
錢二十

社 郊 南
區込牛市京東
地番四町來矢
(五五〇一)込牛話電
(六五〇一)込牛話電
〇七三六二京東替振

~~563~~ 547
~~42~~ KI63

終

